「スープカレー」

北海道学生卓球連盟　幹事長　紙井健人

　　ジンギスカン・豚丼・海鮮丼・・・、北海道にはたくさんの美味しい料理があります。メディアでは日々特集が組まれ、その知名度はすこぶる高いものとなっています。その中でも「スープカレー」という料理をご存じでしょうか。

スープカレーはカレー料理の一つであり、スパイスの効いたスープと食べ応えのある大ぶりの具が特徴的です。札幌の街中を歩けば2～3軒は必ずスープカレーの店を見つけることができるなど、札幌市民のソウルフードとして人気を集めています。特にスープカレーを彩る様々な具が大好きです。メインを張るような主張の激しい具もいれば、そっと食べる人の口直しとなってくれる優しい具もいる。それぞれの具がスープに合うよう調和しあい、一つの芸術作品の如く高い完成度を誇っています。

ここでは普段の学連の活動についてお話しします。私は北海道学連の幹事長として、道内の大会の運営を行っています。仕事を行う上で困難なことは多々ありましたが、その時は他の幹事が自分の事を支えてくれました。至らない部分を仲間が補ってくれたことで、北海道学連として大会運営を行うことができました。仕事に対して誠実に取り組んでくれる人、率先して指示を出して他の人を引っ張れる人、状況を俯瞰的にとらえ、適切なアドバイスや効率の良いやり方を伝えられる人・・・私の周りには常に確固とした長所を持った仲間がいます。この関係性はスープカレーのスープと具の関係に似ているのではないでしょうか。完璧な存在ではありませんが、自分の長所を組織の中で生かしてお互いに補いあう、そんな組織が理想です。各幹事の隠されている長所を掘り出し、生かすことができるようこれからも学連の仕事に励んでいきたいです。